

1 はじめに

(1) 京都市基本計画実施状況（報告）について

京都市では、昭和 53 年の「世界文化自由都市宣言」に基づき、平成 11 年 12 月に「京都市基本構想（平成 13 年～令和 7 年）」を策定し、その具体化に向けた第 3 期の基本計画として、令和 3 年 3 月に市会の議決を得て、令和 3 年度から 5 年間の都市経営の基本となる「はばたけ未来へ！ 京（みやこ）プラン 2025（京都市基本計画）」（以下「京プラン 2025」といいます。）を策定しました。

京プラン 2025 は、「生活者を基点に、参加と協働で未来を切り拓く」という「都市経営の理念」の下、5 年後にめざすべき 6 つの「京都の未来像」を実現するために、特に優先的に取り組むべき 8 つの「重点戦略」と、市全体の総合的な政策体系を示す 27 分野の「政策の体系」、政策推進の基盤となる行政経営の方針である「行政経営の大綱」を掲げたものです。

この報告書は、「京都市会基本条例」に基づき、毎年度の京プラン 2025 の実施状況を報告・公表するために、「京都の未来像」、「重点戦略」、「政策の体系」及び「行政経営の大綱」について、特に重要な前年度の事業等の進捗等を京プラン 2025 に基づきまとめたものです。

今後も、京プラン 2025 の「都市経営の理念」の下、政策の進化を図りながら、「京都の未来像」の実現をめざして取り組んでまいります。

<参考> 京都市会基本条例（抄）

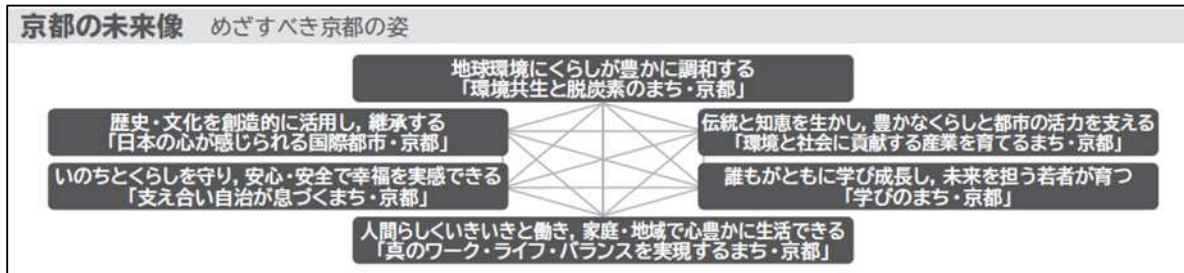
（市会の議決に付すべき事件等）

第 18 条

- 2 市長は、毎年度、前項第 1 号に規定する基本計画の実施状況を市会に報告しなければならない。

(2) 京プラン 2025 の構成

はばたけ未来へ！ 京プラン2025（京都市基本計画）



重点戦略 未来像相互の関連性に着目しながら、複数の行政分野を融合し、とくに優先的に取り組むべき事項

多様な文化を創造・発信する
「世界の文化首都・京都戦略」

都市環境と価値観の転換を図る
「脱炭素・自然共生・循環型
まちづくり戦略」

京都ならではのくみ文化が
広がる
「担い手成長支援戦略」

人生100年時代に対応する
「地域力・福祉力を高めて
支え合うまちづくり戦略」

いのちとくらしを守り、
都市の活力を支える
「強靱なインフラ整備戦略」

歩いて楽しい持続可能な
都市を構築する
「土地・空間利用と
都市機能配置戦略」

京都の文化、知恵を生かした
「社会・経済価値創造戦略」

市民生活の豊かさ
文化の継承・創造につなげる
「観光の京都モデル構築・
発信戦略」

政策の体系 総合的な政策体系を簡潔に示すとともに、分野別計画の基本となるもの

<うらおい>

- 1 環境
- 2 人権・男女共同参画
- 3 市民生活とコミュニティ
- 4 市民生活の安全
- 5 文化
- 6 スポーツ

<活性化>

- 7 産業・商業
- 8 観光
- 9 農林業
- 10 大学
- 11 国際

<すこやか>

- 12 子ども・若者支援
- 13 障害者福祉
- 14 地域福祉
- 15 健康長寿
- 16 保健衛生・医療
- 17 学校教育
- 18 生涯学習

<まちづくり>

- 19 危機管理・防災・減災
- 20 歩くまち
- 21 土地・空間利用と都市機能配置
- 22 景観
- 23 建築物
- 24 住宅
- 25 道と公園・緑
- 26 消防・救急
- 27 暮らしの水

政策推進の基盤

行政経営の大綱 基本計画を進めていくための基盤となる行政経営の方針

- 1 参加と協働による持続可能なまちづくりの推進
- 2 市民の豊かさを実現するための挑戦と改革の行政運営
- 3 一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と職員の育成